

## 指定避難所の現状について

南部体育館避難所運営委員会会長 中田景文

松南地区においても避難所運営委員会が、一昨年より立ち上がりました。昨年11月には松南地区避難所合同の避難所運営訓練が実施されました。実際に訓練を実施することにより、様々な問題点が出てまいります。まず避難所の収容人数が少なく、大規模地震が発生し大きな被害が出た際には、希望者全員を収容できません。市内の他の避難所も似たような状況かと思いますが、非常時のためだけに行政が避難所を早急に増設することは難しいです。代替策としては民間施設(商業施設の屋内駐車場あるいは倉庫等)の活用等が考えられますが、行政と民間企業との災害時の協定をさらに前向きに検討していただきたいと思います。



避難所受入れ訓練 (HUG)

また避難所に必要な備品については、災害時には島内の防災倉庫から配送されますが、災害の状況によっては迅速な配送が実現できるか心配です。現在少量の備品の備蓄は各避難所にありますが、避難所の立ち上げ時に必要な最低限の備品を精査の上、それぞれの避難所に必要量備蓄することも必要と考えます。



松本大学学生も積極的に参加

避難所の立ち上げ手順は、地震の場合は避難所の建物が被害を受けていないかの確認作業が終わらないと、避難所の開設はできません。したがって、地震による避難所開設には若干の時間がかかります。その間、被災者は安全な場所で待機することになります。普段から災害時の行動をシミュレーションしておくことも大切です。また、冬季には電気に頼らない暖房設備が必須と考えます。

以上避難所に対する要望事項等を述べましたが、災害に対する心構えとしてよくいわれることですが、公助に頼らないで自助・共助を肝に銘じ、普段から災害に対する準備を怠らないことが大変重要です。各家庭、各町会において更なる災害時への対策強化をお願いします。

## 子ども達との交流会

福祉ひろば 井口純子

開明小学校2年生との交流会が、クラス毎に松南地区公民館で開催されました。子どもたちのパワー溢れるダンスや合唱、自主制作の映画やテレビCMなどの発表があり、また図書館職員による読み聞かせも一緒に楽しみました。



折り紙じゃんけん

1組と地域の方々との交流では、「折り紙じゃんけん」をしました。一人5枚の折り紙を勝ち負けごとに手渡し、残った枚数を競います。一喜一憂しながら盛り上がりました。また2組とは「平面キューブ」を一緒に作りました。

参加者からは「子どもはいいね。次も行くよ」という声が聞かれました。子どもたちとの交流は元気がもたらえるので、これからも続いてほしいです。

## 松南地区の歩み

原始から古代は「先進地」

当地区は、主に奈良井川の氾濫原(沖積地)のため、稲作の始まる弥生時代以降、集落が形成されます。特筆されるのは、弘法山古墳と同類の東海系土器が出川西遺跡(現東京インテリア付近)から出土している点です。また出川南遺跡(現イオン南松本店周辺)では5〜6世紀の古墳3基や105軒の住居跡、埴輪が発見されています。その後、奈良から平安時代の集落が平田北遺跡(現キッセイ薬品)等から発見されます。しかし以後、姿が消えています。水脈の変化が原因でしょうか。



ひつたり 平田里古墳の埴輪

## 未解明の中世

場所が特定できませんが、近辺の「捧庄」の記録が後白河上皇以降鎌倉時代末期まで断続的に残されています。またその地頭だった小笠原氏など戦国大名が登場してきます。

### 新成人の抱負

※芳野町町会 村田登馬

20歳を迎え、大人の仲間入りができました。実際のところ、まだ成人の実感はありません。

私は、今年で社会人2年目です。冠婚葬祭の仕事をしています。お通夜や葬儀を通して、大切な人を亡くして悲しんでいる遺族の方の力になり、感謝の言葉をかけてもらったときは、この仕事をしていたて良かったと感じる瞬間です。職場の先輩や同僚に支えられ、充実した毎日を送っています。

### 成人を迎えるにあたって

南松本一丁目町会 丹羽宏毅

とうとう自分にもそういう時期がやってきたなという気持ちになりました。

私が成人を迎えることができたのは、今まで支えてくれた両親、そしてご指導いただいた諸先輩方、いつも温かく見守り、声をかけてくださった地域の方々のおかげだと思っています。心より感謝申し上げます。

私は現在、通信関係の仕事



ています。コロナ禍で先の見えない不安な世の中ですが、成人としての自覚と責任をもつて行動できるように心がけていきたいです。今まで育ててくれた家族や幼い頃から見守ってくれた地域の皆様には、本当に感謝しています。

に従事しております。毎日の業務には大変なこともありますが、自分の仕事は社会の中でほんの少しでも役に立てればという思いをもって、日々、取り組んでおります。

今後、社会の一員として責任ある行動をとらなければなりません。成人という大きな節目を迎え、これから先も社会に貢献できる人間を目指してまいります。より一層のご指導をよろしくお願いたします。

### 新成人の声

### 自分に

ベクトルを...

※宮田東町会 土屋朋輝

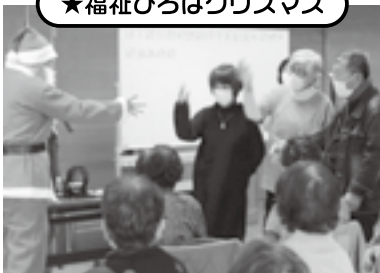
まずは無事に成人を迎えることができ、大変嬉しく思います。新成人になるに当たり、何か変化することは特にはないと思います。ただ、自身の言動への責任は、今まで以上に持たなければいけないと思います。先のことや人の気持ちを考えるためにも、自分にベクトルを向け、責任ある言動を心掛けていきたいと思えます。

大人になるというのは、人それぞれ考えがあったり、理想像があったりすると思います。私の中で、大人になるということの一つは、自分の言動に責任を持つということがあります。これから先、より自分にベクトルを向け、自分の考える理想の大人になっていけるように、日々、精進していきたいと思えます。



### 地域のつながり

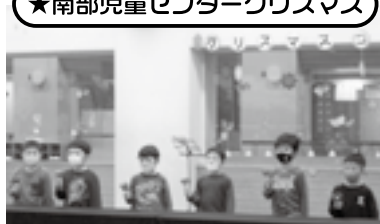
★福祉ひろばクリスマス



★図書館クリスマス



★南部児童センタークリスマス



★2年生交流会

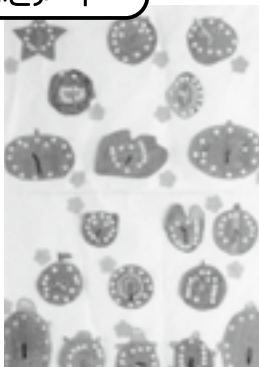


★まちかどアート



南松本保育園

★なんなんひろばイルミネーション



宮田保育園



★5年生ミシンボランティア

